

就職活動について

世界的な経済不況の中、大学生の就職環境が大変厳しくなっています。文部科学省の発表では、2010年3月に卒業した全国の大学生で就職をした人は、60.8%となり、就職をしなかったができなかった学生は87,000人と発表しています。本学では、全卒業生に対し就職をした学生は65.9%であり、全国平均は上回っております。また、就職及び進学をした学生（進路決定者）は74.1%ですが、昨年度と比べて9ポイント減となっております。

このような状況の中、2011年3月に卒業する学生の求人倍率は、1.28倍（昨年は1.62倍）となり就職環境はさらに悪化しており、現4年生に対しても就職課では継続的に支援を行っております。また、企業は一段と厳選採用の傾向を強め、質を重視した採用を行っており、学生の就職活動は長期に渡るうえ、企業の採用方法は多様化し複雑になっています。

就職課では、既に5月中旬から就職講座を開催していますが、後期からのより実践的な就職講座を多数開催していきます。就職活動のステップとしては、一般的には下記図1のとおりとなります。

図1



1. 自己分析

就職試験では、必ず「自己PR」を聞かれます。従って、「自分がどんな人間であるのかを理解すること」、自分の性格や得意・不得意なことを分析し、個性を明らかにすることが重要です。自己分析講座については、既に9月に「自己分析・自己PR構築講座」を実施しましたが、色々な講座の中で再度その重要性和方法を学生にレクチャーしていきます。

2. 業界・職種研究

自己分析を行いながら、自分にあつた業界・職種を探していきます。自分の得意分野を活かせる業界・職種は何か、「業界会社研究講座」では、自動車業界、運輸業界、小売（百貨店）業界、総合商社、専門商社、マスコミ業界、金融業界、食品業界等、様々な業界の採用担当者から説明を聞くことができます。また、2月上旬には学内におきまして約400社の企業を招いての「合同企業説明会」を実施いたします。

3. エントリー

業界・職種研究を進めながら実際に受ける企業にエントリーを行います。エントリーはリクナビやマイナビといった採用情報を取り扱っているWEBサイトで行うことができます。10月1日から各採用情報サイトはオープンしており、多くの企業がエントリーの受付を開始しています。エントリーを行った企業から、採用情報（説明会参加予約、エントリーシートの入手方法等）が各学生にメールで知らされる仕組みとなっております。

4. 選考

企業の採用選考は、一般的には次のような流れとなります。

1. エントリーシートによる書類選考。

2. 企業説明会における筆記試験（適性検査、SPI-2、一般常識試験等）。
3. グループディスカッション面接。
4. 集団面接・個人面接。

就職講座では、「履歴書の書き方講座」「エントリーシート対策集中講座」「筆記試験対策講座」「グループディスカッション面接対策集中講座」「実践模擬面接」等すべての採用試験の対策として実践講座を実施します。

その他の講座として、就職活動および社会人生活に欠かせない「ビジネスマナー講座」や、まだまだ厳しい女子学生の就職支援として「女子学生のための就職セミナー」「就職活動へアー・メイク講座（女子学生編）」なども実施いたします。特に、履歴書やエントリーシートに貼付する証明写真は第一印象として重要な要素となります。そのため、就職課では、11月にプロのカメラマンを学内に招いて、出張撮影会を開催いたしました。

さらに、内定した先輩による「就職活動報告会」、「内定した先輩に直接話を聞こう会」を行い、4年次生から就職活動の方法や自己分析の方法、企業の探し方、面接でどんなことを聞かれたのか、志望動機は何を話したのかなどリアルな就職活動方法のアドバイスを受けるイベントを実施しました。また、本学卒業生約40名を学内に招いて行う「実践OB・OG訪問」（11月6日開催）では、OB・OGからそのような仕事を行っているのか、仕事においてつらいこと、楽しいことなど実際の業務について話していただきました。

このように、就職課では就職活動に必要な情報を各講座を通じて学生に伝えていきます。授業等で講座に出席できない学生のために講座の内容を録画し、就職支援サイト「KUキャリアナビ」による映像配信も行っております。